

5月号

第二回古典の日文化基金〔未来賞〕受賞
京都府立鳥羽高等学校披講研究部



やまとうたは人の心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける
『古今和歌集』仮名序より

〔受賞理由〕

冷泉流歌道の指導をうけ、作法に則って詠まれた和歌を、宮廷衣装を身に着けて古式ゆかしく唱和する「披講」を学校内外で披露するなど、日本古来の伝統美である和歌を体現継承している。「全国高校生伝統文化フェスティバル」へ出演するなど、活動は広く認知されており、今後とも日本の古典文化を正しく理解し、次世代に継承する活動を期待する。

京都府立鳥羽高等学校披講研究部
「古典の日に寄せて」

みなさん、こんにちは。京都府立鳥羽高等学校披講研究部の中川嵯月です。
私がこの部活動に入ったきっかけの一つは、平安装束を身にまとってみたいという思いでした。実際に装束を着て和歌を詠むと、その重みや動きにくさから所作が自然とゆっくりとなり、一つ一つの動きに意識が向きました。そこで、平安時代の人々は静かな振る舞いの中にも趣を感じ取っていたのではないかと思いました。この経験を通して、和歌や歌会の伝統をより深く学び、心を込めて表現していきたいと思っています。

歌会で披露する和歌は何作ものの中から選ばれたもので、発表に向けて練習するのですが、指導の先生からの解説が入ることもあり、披講に関する知識が深まります。何度もその和歌を声に出して練習していると、言葉から景色が何となく浮かんでくるような気持ちになり、また部員たちと声を合わせていると、何とも言えない心地よさも感じます。披講研究部に入ったおかげで、古くからある和歌に関心を持つようになりました。これからもこの心を大切にしたいと思います。

京都府立鳥羽高等学校披講研究部 坂本美都



令和7年度京都府高等学校文化連盟優秀校に選ばれ、
全国高校生伝統文化フェスティバルから招待され披露しました。

〔プロフィール〕

京都府立鳥羽高等学校は、「スポーツ」「伝統・文化」「グローバル」を教育活動の柱としています。日本文化の真髄に触れる独自の活動として、特に大切にしてきたのが、古来歌い継がれてきた「冷泉流和歌」の作法にのっとり、「和歌を詠む」活動です。冷泉貴実子先生の御講演や冷泉流和歌の作歌を経験する他、歌会の開催や歌集の発行などを行い全生徒が古典和歌に親しんでいます。歌会では、披講研究部が生徒の代表歌を作法にのっとり唱和し、日本の伝統美を伝える和歌が今に生きていることを体感できます。披講研究部は、「全国高校生伝統文化フェスティバル」などの催しに出演しています。

披講研究部の活動について

◆高校生伝統文化事業(古典)

秋の歌会(10月下旬から11月上旬に開催)